

環境経営レポート

活動期間 令和4年8月～令和5年7月



発行:令和5年11月10日

わたしたちの誇りは品質。

竹花工業株式会社

目 次

環境経営方針		1
組織の概要		2
組織図		3
再資源化(処理フロー)		4
主要な環境活動計画の内容		5
環境目標とその実績及び評価【本社】		6
環境目標とその実績及び評価【駒ヶ根支店】		7
環境目標とその実績及び評価【駒ヶ根工場】		8
主な環境活動の内容		9
環境関連法規への違反、訴訟の有無		13
次年度の環境目標・取り組み内容		14
代表者による全体の評価と見直し・指示		15

環境経営方針

1. 環境経営理念

高い技術、誠実、迅速を常に信条として社業を通じ社会に貢献し環境保全活動に
全社員で取り組みます

2. 経営方針

- 1) 仕事の確保・事業継続
- 2) いい会社をつくる

3. 環境方針

- 1) 省資源・省エネルギーに取り組み、CO₂排出量を削減する
- 2) 分別の徹底により、リサイクルの推進を図り、廃棄物を削減する
- 3) 環境に配慮した建築物・工作物等の提案を行う
- 4) CS活動により、環境経営目標を達成する
- 5) 地域社会における環境汚染の予防及び拡大防止に努める
- 6) 環境に関連する法規制を遵守する
- 7) 本方針を全社員に周知し、継続的な維持改善を行い環境保全に努める

制定日 平成23年9月10日
改訂日 令和 4年9月17日

竹花工業株式会社

代表取締役 唐澤正幸

組 織 の 概 要

(1) 事業所及び代表者名

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤 正幸

(2) 所在地

本社 長野県小諸市南町二丁目6番10号
小諸生コン工場 長野県小諸市甲1816-1
工事施工部 長野県小諸市甲狐穴1818-1
田中支店 長野県東御市県518番地
軽井沢営業所 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字東屋敷浦4630-18
北軽井沢支店 群馬県吾妻郡長野原町大字応桑819-3番地
駒ヶ根支店 長野県駒ヶ根市中沢12175番地
駒ヶ根工場 長野県駒ヶ根市中沢3392番地

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 建築次長 小林 秀司
担当者 経理課長 小宮山 剛
連絡先 TEL 0267 (22) 1750 FAX 0267 (23) 3969
HP www.takehanakogyo.co.jp E-mail inho@takehanakogyo.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業 国土交通大臣許可（特・般）第3322号
営業種目： 建築工事、土木工事、管工事、とび・土工工事、石工事、ほ装工事、造園工事
鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、解体工事
電気工事、大工工事、屋根工事、内装仕上工事、タイル・れんが・ブロック工事
生コン等の製造販売、住宅販売、コンクリート補修、砂利・砂・砕石の採取販売
産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理(破碎)

一級建築士事務所 長野県知事登録（佐久）J第36095号
宅地建物取引業許可 長野県知事 (13)第1471号
産業廃棄物収集運搬業許可 長野県知事 2000029517
許可年月日 令和2年4月25日 有効年月日 令和7年4月24日

(5) 産業廃棄物処理施設等の状況

産業廃棄物処分業許可 長野県知事 2020029517
許可年月日 令和2年4月25日 有効年月日 令和7年4月24日
【中間処理施設所在地】 長野県駒ヶ根市中沢3242、3243
がれき類の破碎施設 固定式:RC-30 固定式:SAP-4K 処理能力(720t/日)
がれき類の破碎施設 固定式 処理能力(624t/日)
アスコン廃材 12,094.05t 二次製品廃材 1,128.31t
コンクリート廃材(無筋) 6,205.77t コンクリート廃材(有筋) 4639.29t

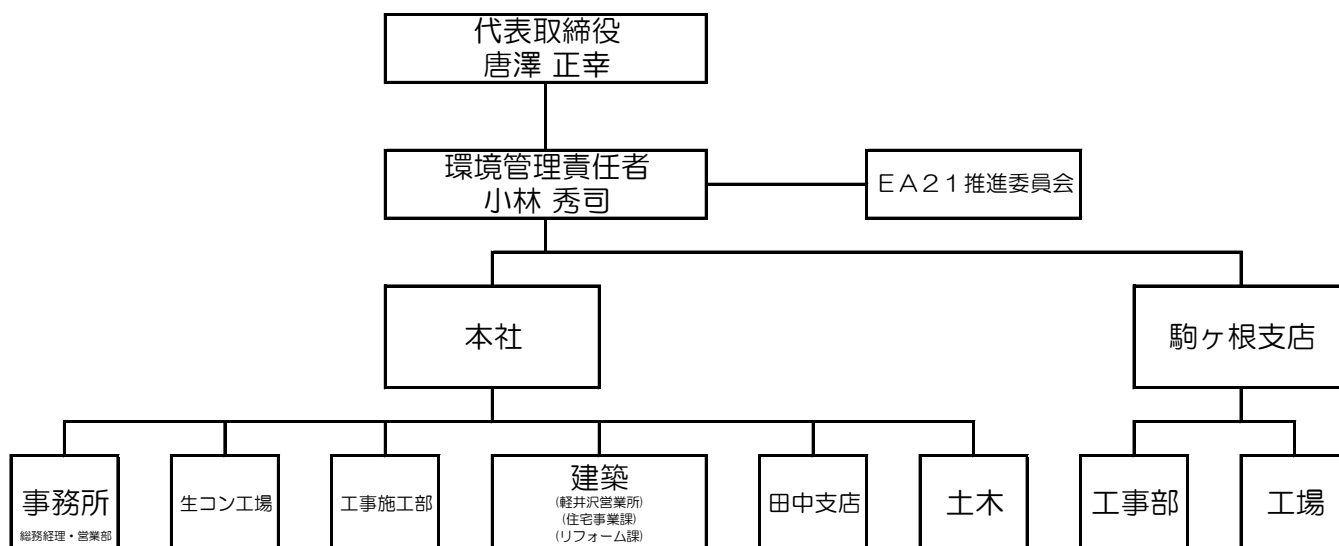
(6) 産業廃棄物収集運搬の状況

収集運搬実績 業としての実績 0 t 自社収集運搬実績 2,095 t

(7) 事業の規模

設立年月日 昭和38年1月30日
資本金 9,600万円（授權資本1億5,600万円）
売上高 48億2,230万円（第61期 R4.8.1～R5.7.31）
従業員数 146名
本社建物 鉄骨造陸屋根5階建て 延べ床面積 1,916.98㎡

令和4年度 環境経営システム組織図

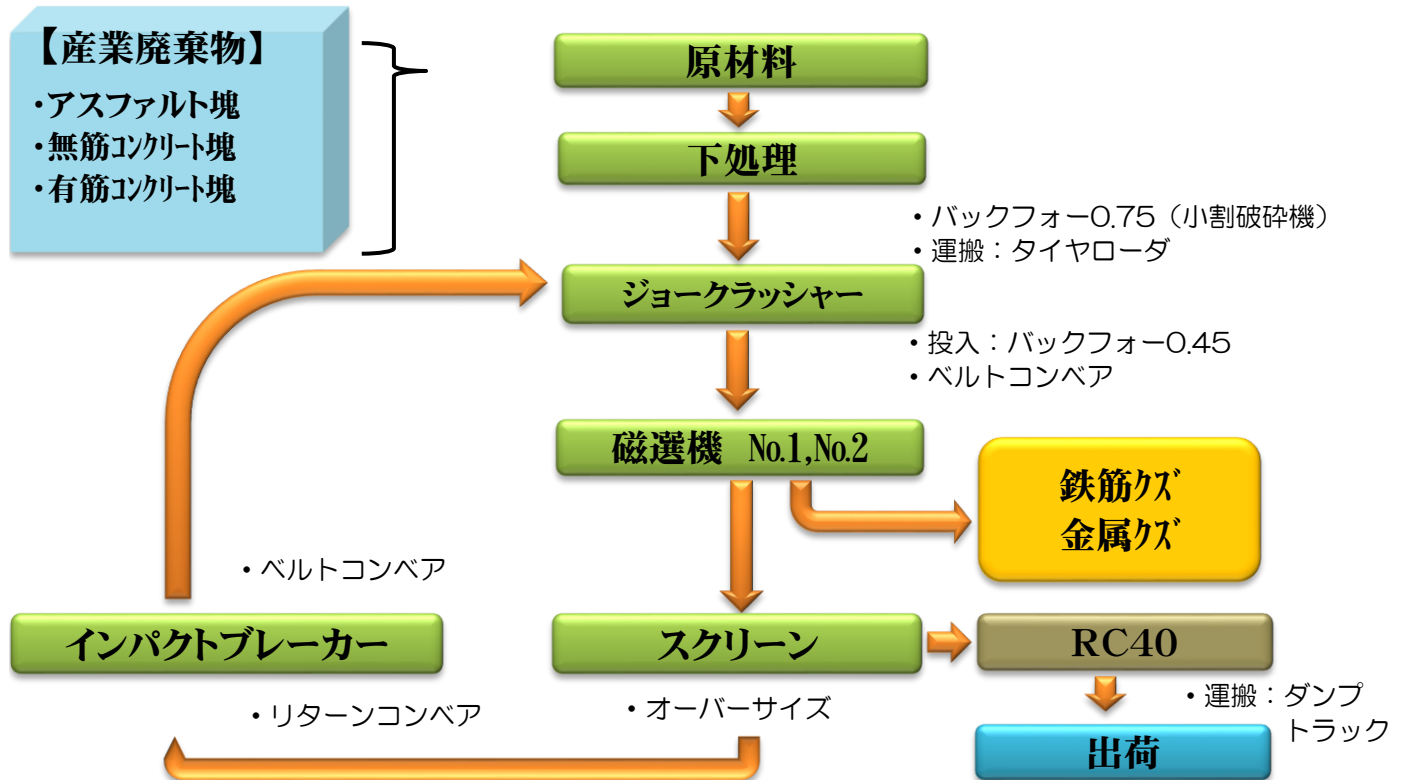


環境経営システム 役割・責任・権限表

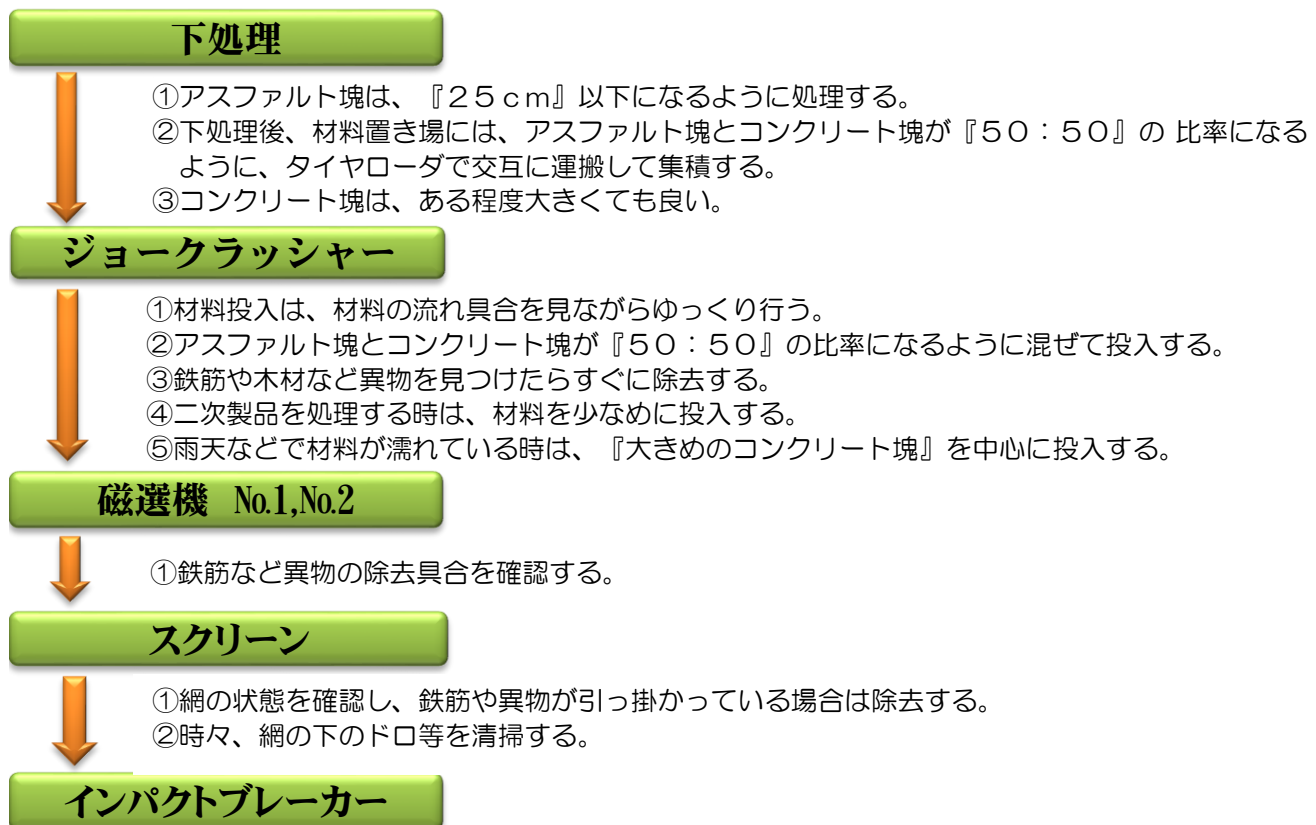
	役割・責任・権限
代表者 (社長)	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 - 環境管理責任者を任命。 - 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 - 環境目標・環境活動計画書を承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 環境活動レポートの承認。
環境管理 責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理。 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 - 環境目標・環境活動計画書を確認。 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 - 環境活動レポートの確認。
EA21 推進委員会	- 環境管理責任者の補佐。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 - 環境活動の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施。 - 自部門における環境方針の周知。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施記録の作成。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

※ 下請負人に於いては、対象外とする。

がれき類の破碎施設作業フロー図



がれき類の破碎施設作業要領書



【処理料金】

形状、数量等により異なりますので、弊社工場（TEL0265-82-5275）までお問い合わせ下さい。無料にてお見積りさせていただきます。

【保有する運搬車両】

11tダンプ 4台 、 4tダンプ 1台 、 2tダンプ 2台

令和4年度 主要な環境活動計画の内容

二酸化炭素の削減

- 【電力の削減】 削減率 -0.5%
 - ・昼食時及び不使用部屋消灯
 - ・OA機器の不使用时には電源をOFFにする
 - ・残業時間、夜間照明を必要最小限にする
- 【灯油の削減】 削減率 -0%
- ・長時間不在時は暖房をとめる
- 【重油の削減】 削減率 -0.5%
 - ・生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する
 - ・日中はボイラーを止める
- 【都市ガスの削減】 削減率 -0%
 - ・不在箇所のエアコン電源OFF
- 【液化石油ガスの削減】 削減率 -0%
 - ・沸騰時にすぐ消火
 - ・音の鳴るやかん使用
- 【ガソリン・軽油の削減(自動車、建設機械等の燃料)】 削減率 -0.5%
 - ・エコドライブ・アイドリングストップを実施する
 - ・車両の整備、走行距離の定期的チェックを実施する
 - ・積載オーバーをしない
 - ・車両、機械の定期的整備を実施する
 - ・各現場へ乗り合わせて移動する。

廃棄物

- 【産業廃棄物の削減】 削減率 -0.5%
 - ・不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用）
 - ・分別収集によるリサイクル化の実施
- 【リサイクル化率の向上】 削減率 +0.1%

水

- 【水道水の削減・井戸水の削減】 削減率 -0.1%
 - ・水道水を出しすぎない
 - ・井戸水の使用量把握を行い削減につなげる

化学物質

- 【化学物質使用量の削減】 削減率 -0.1%
 - ・原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する

製品

- 【製品への環境配慮】
 - ・環境に配慮した製品を生産又は販売する

※ 基準年【令和3年度】からの削減率を記載

令和4年度 環境目標と実績及び評価【本社】

項目				基準値	令和4年度実績値				中長期目標値	
				令和3年度 R3.8~R4.7	削減目標値		令和4年度 R4.8~R5.7	評価	令和5年度	令和6年
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	207,330	▲0.5%	206,293	187,236	○	205,257	204,220
		排出量	kg- CO_2	80,444	▲0.5%	80,042	72,648		79,640	79,237
	灯油	使用量	L	5,014	▲0%	5,014	6,344	×	5,014	5,014
		排出量	kg- CO_2	12,495	▲0%	12,495	15,809		12,495	12,495
	重油	使用量	L	7,309	▲0.5%	7,272	5,265	○	7,236	7,199
		排出量	kg- CO_2	19,805	▲1.5%	19,706	14,266		19,607	19,507
	都市ガス	使用量	Nm3	4,930	▲0%	4,930	5,150	×	4,930	4,930
		排出量	kg- CO_2	11,021	▲0%	11,021	11,513		11,021	11,021
	L Pガス	使用量	Nm3	77	▲0%	77	44	○	77	77
		排出量	kg- CO_2	231	▲0%	231	132		231	231
	ガソリン	使用量	L	53,242	▲0.5%	52,976	49,791	○	52,710	52,443
		排出量	kg- CO_2	123,610	▲0.5%	122,992	115,598		122,375	121,755
	軽油	使用量	L	218,989	▲0.5%	217,894	164,170	○	216,799	215,704
		排出量	kg- CO_2	566,354	▲1.5%	563,522	424,580		560,690	557,858
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	813,959	▲0.5%	810,008	654,546	○	806,058	802,107
産業 廃棄物	排出量		t	3,450	▲0.5%	3,433	2,659	○	3,416	3,398
	再資源化量		t	2,858	○	3,835	2,185	—	2,835	2,835
	リサイクル化率		%	82	+0.1%	82	82	○	83	83
水道水排水量			m ³	23,920	▲0.1%	23,896	15,962	○	23,872	23,848
化学物質使用量			kg	2,260	▲0.1%	2,258	1,800	○	2,255	2,253

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

上半期は、電力・軽油の使用量が生コンプラントの稼働状況により目標値を上まわってしまった。
全体的には、土木工事の減少、生コンプラントの下半期の出荷量の減少などにより、電力・燃料の使用量が減り目標を達成することが出来た。工事量によるところもあるが、廃棄物についても排出量の削減、リサイクル化率についても向上してきている。

令和4年度 環境目標と実績及び評価【駒ヶ根支店】

項目				基準値	令和4年度実績値				中長期目標値	
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和4年度 R4.8～R5.7	評価	令和5年度	令和6年
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	37,071	▲0.5%	36,886	37,454	×	36,700	36,515
		排出量	kg- CO_2	14,384	▲0.5%	14,312	14,532		14,240	14,168
	灯油	使用量	L	2,165	▲0%	2,165	1,793	○	2,165	2,165
		排出量	kg- CO_2	5,395	▲0%	5,395	4,468		5,395	5,395
	重油	使用量	L	155	▲0.5%	154	20	○	153	153
		排出量	kg- CO_2	420	▲1.5%	418	54		415	415
	都市ガス	使用量	Nm3	0	▲0%	0	0	－	0	0
		排出量	kg- CO_2	0	▲0%	0	0		0	0
	LPガス	使用量	Nm3	197	▲0%	197	106	○	197	197
		排出量	kg- CO_2	591	▲0%	591	318		591	591
	ガソリン	使用量	L	21,186	▲0.5%	21,080	15,242	○	20,974	20,868
		排出量	kg- CO_2	49,187	▲0.5%	48,941	35,387		48,694	48,448
	軽油	使用量	L	41,572	▲0.5%	41,364	30,840	○	41,156	40,948
		排出量	kg- CO_2	107,514	▲1.5%	106,977	79,759		106,438	105,901
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	177,490	▲0.5%	176,633	134,515	○	175,776	174,918
産業 廃棄物	排出量		t	1,316	▲0.5%	1,309	913	○	1,303	1,296
	再資源化量		t	1,316	0	1,309	913	○	1,303	1,296
	リサイクル化率		%	97	+0.1%	97	100	○	100	100
水道水排水量			m ³	899	▲0.1%	898	903	×	897	896
化学物質使用量			kg	0	▲0.1%	0	0	－	0	0

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

産業廃棄物については、再資源化され良好に推移している。
工事工種、工事量にも関係してくるが、ガソリン・軽油の消費が減少、二酸化炭素排出量も問題なく推移している。

令和4年度 環境目標と実績及び評価【駒ヶ根工場】

項目				基準値	令和4年度実績値				中長期目標値	
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和4年度 R4.8～R5.7	評価	令和5年度	令和6年
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	758,084	▲0.5%	754,294	801,190	×	750,503	746,713
		排出量	kg- ∞ 2	294,137	▲0.5%	292,666	310,862		291,195	289,725
	灯油	使用量	L	15,535	▲0%	15,535	17,075	×	15,535	15,535
		排出量	kg- ∞ 2	38,712	▲0%	38,712	42,550		38,712	38,712
	重油	使用量	L	4,000	▲0.5%	3,980	12,000	×	3,960	3,940
		排出量	kg- ∞ 2	10,839	▲1.5%	10,784	32,516		10,730	10,676
	都市ガス	使用量	Nm3	0	▲0%	0	0	－	0	0
		排出量	kg- ∞ 2	0	▲0%	0	0		0	0
	L Pガス	使用量	Nm3	134	▲0%	134	18	○	134	134
		排出量	kg- ∞ 2	402	▲0%	402	54		402	402
	ガソリン	使用量	L	4,379	▲0.5%	4,357	4,273	○	4,335	4,313
		排出量	kg- ∞ 2	10,167	▲0.5%	10,116	9,920		10,064	10,013
	軽油	使用量	L	274,043	▲0.5%	272,673	245,243	○	271,303	269,932
		排出量	kg- ∞ 2	708,735	▲1.5%	705,192	634,252		701,649	698,104
二酸化炭素総排出量			kg- ∞ 2	1,062,992	▲0.5%	1,057,872	1,030,153	○	1,052,752	1,047,633
産業 廃棄物	排出量		t	0	▲0.5%	0	0	－	0	0
	再資源化量		t	0	0	0	0	－	0	0
	リサイクル化率		%	0	+0.1%	0	0	－	0	0
水道水排水量			m ³	689	▲0.1%	688	678	○	688	687
化学物質使用量			kg	0	▲0.1%	0		－	0	0

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

水道水の使用量が年々増加傾向にある。水道水の増加については、冬場のボイラー使用によるものと考えられる。寒冷地ではボイラー使用は不可欠であり水道水以外は使用できないため削減は難しい。他については評価が達成されている。今後も目標値以内にするように気を付ける。

令和4年度 主な環境活動の内容【本社】

【環境美化活動】 地域貢献の一環として、現場周辺の清掃活動を実施した。

●開催日 令和4年12月12日

①大久保道路工事現場



②森山道路工事



●開催日 令和4年12月15日

①野馬取浄水池基礎工事



②市町道路改築工事



令和4年度 主な環境活動の内容【駒ヶ根工事部】

【エコ活動】 使用済みヘルメットをリサイクルセンターに発送



【環境美化活動】 地域貢献の一環として、現場周辺の清掃活動を実施した。

●開催日：令和4年11月19日 場所：駒ヶ根市梨の木～小城 付近



●開催日：令和5年1月21日 場所：駒ヶ根支店～天竜大橋～一心館～天竜大橋

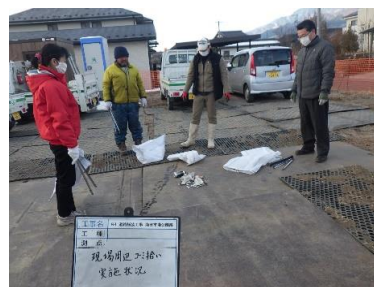


令和4年度 主な環境活動の内容【駒ヶ根工事部】

●開催日：令和5年2月18日 場所：駒ヶ根市柏木 付近



●開催日：令和5年2月18日 場所：駒ヶ根市南田 付近



●開催日：令和5年6月13日 場所：駒ヶ根支店～新宮川岸橋～プラント工場 左右歩道



令和4年度 主な環境活動の内容 【駒ヶ根工場】

【緊急事態への準備と対応】

開催日 令和5年7月7日 午前8時00分～午前8時20分

場所 駒ヶ根支店 生コン工場

訓練内容 ① 消火訓練



【地域貢献】

開催日 令和4年11月7日～令和4年11月9日

内容 上伊那広域消防団体の6消防署が実施する土砂崩壊により土砂に埋まった人を救助する訓練のため砂山を貸しました。その様子はエコーシティー駒ヶ岳で放送され長野日報にも掲載されました。
今まで土砂を再現できる場所の確保が難しかったが当社の砂山を貸すことで人が埋まっていることを想定した訓練が実現しました。



【地域貢献】

内容 工場西側の土手及び竜東線沿いの草刈り



令和4年度 環境関連法令等一覧表

主な法規制

法規・法令等名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
1.廃棄物処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
2.騒音規制法	特定建設作業（杭打ち機、削岩機等）の実施届出	遵守
3.振動規制法	特定建設作業（杭打ち機、ブレーカー等）の実施届出	遵守
4.大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う特定粉じん等排出作業の届出	遵守
5.建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	新築工事及び解体工事の実施の届出	遵守
6.労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業の届出	遵守
7.建築基準法	内装工事、空調工事に伴う使用禁止建材の規制等	遵守
8.建設工事公衆災害防止対策要綱	工事全般、解体工事に伴う付近住居者等への周知、塵芥・騒音防止の措置	遵守
9.フロン排出抑制法	解体前に設置有無確認 業務用エアコンの定期点検・簡易点検の実施と記録	遵守
10.消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請・届出	遵守
11.水質汚濁防止法	工事用排水、工場排水に伴う規制等 中和装置の設置届・特定施設設置届	遵守

- ・当社は小林管理者が中心となり法規の遵守状況について問題が無いことを確認しました。
又、過去3年間、違反、訴訟等の無い事を確認致しました。

次年度 環境目標・取り組み

令和5年度【令和5年8月～令和6年7月】

基準年【令和4年度】からの削減目標		取 組 み	取組重点部門
二酸化炭素の削減	電力の削減 -1%	1.昼食時及び不使用部屋消灯 2.OA機器の不使用時には電源をOFFにする 3.残業時間、夜間照明を必要最小限にする	各事業所
	灯油の削減	1.長時間不在時は暖房をとめる	各事業所
	重油の削減 -1%	1.生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する 2.日中はボイラーを止める	生コン事業部
	都市ガスの削減	1.不在箇所のエアコン電源OFF	各事業所
	液化石油ガス(LPG)の削減	1.沸騰時にすぐ消火 2.音の鳴るやかん使用	各事業所
	ガソリンの削減 -1%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する。 2.車両の整備・走行距離の定期的チェックを実施する 3.各現場へ乗り合わせて移動する。	各事業所
	軽油の削減 -1%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する 2.積載オーバーをしない 3.車両・機械の定期的整備を実施する	車両資材部 生コン事業部
廃棄物	産業廃棄物の削減 -1%	1.不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用） 2.分別収集によるリサイクル化の実施	各事業所 各現場
	リサイクル化率の向上 +0.2%		
水使用料の削減 -0.2%		1.水道水を出しすぎない 2.井戸水の使用量把握を行い削減につなげる	生コン事業部 各事業所
化学物質使用量の削減 -0.2%		1.原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する	生コン事業部 各現場
製品への環境配慮		1.環境に配慮した製品を生産又は販売する	生コン事業部 各事業所

代表者による全体の評価と見直し・指示

(総評)

今年度もコロナ禍、ウクライナ危機や円安等の影響による建設資材等の価格高騰・品薄等により、地域建設業を取り巻く環境は大変厳しくなっている。
人口減少により全ての産業が大転換を求められている。多くの企業で若者や労働人口が減少し、雇用問題が発生しており、建設業においても、少子高齢化の流れの中で、就業人員が大幅に減少している。多くの企業にとっては厳しい経営状況が続きました。
一方でコロナ禍の中で、リモートワークなど新しい就業体制や、新たな産業分野への進出や、技術の発展・革新が促進されました。
革新的な技術と発想によって、新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらす取り組みが進み、経済成長も相まって、企業や個人の活気が高まり、地方創生や持続可能な経済の実現に向けた取り組みも進み、経済回復の兆しも見え始めた年度でもありました。
全国各地で毎年繰り返される、台風などによる大規模な自然災害により、「地域の守り手」として、建設産業の災害復旧の役割が見直されている。
引き続き良質な社会資本整備や維持管理の担い手としての役割を担っていくことについて地域建設業が期待されている。
今後、業界が魅力ある職場への変化のために、働き方改革や建設DX等により生産性を向上させ明日の建設業の担い手を確保・育成していくことが発注者と共に求められている。

(竹花工業の現状)

今期は減額の売上高となり、利益も前期に比べると大きく減額の予想です。
コロナ禍後であったが、CS活動を行い発表会でそれぞれの部門が抱える問題の一部を、社員共有のものとして解決していく方向が示せた。
本社では4班に分かれての社員旅行が久しぶりにできた。今後は全員参加のできる活動を目指していきたい。
本社サイドは、軽井沢地区の建築の多忙さをはじめとして、各現場で多くの問題が発生したが関係者の努力により工事の引き渡しができている。
駒ヶ根地域では動きが少ない中で、工場と工事が堅調な動きができた。
社会貢献の一つとして、災害時の出動や除融雪・小規模維持補修への対応、施工部・直営を中心に例年通りにできた。
若い従業員に対しての技術・技能継承は、更なる社内制度の見直しと共に、ベテラン社員の意識改革も必要となる。
一方で、世の中はいろいろなことがうるさくなり、やらなければいけないルールがどんどん増えている。毎年守るべきもの、規則・規制・制限・禁止事項が変化して、増えていく時代となった。
その都度対応し、ルールを守りながら効率化を進める事は、当社にとってしんどいのが対応しなくてはならない。
新型コロナウイルス対策による大きな社会変化に対し、すべての企業が影響された。価値観が変わってきている。
61期は本社サイドの災害復旧工事が終了し、大型の公共工事がなく土木において再び少ない仕事の受注競争が始まっている。
軽井沢地区は民間建築で地域全体が活況を呈しており、当社においても職人不足・資機材の値上がり・納品遅れによるクレームが発生している。
建設単価の値上がりが落ちてきたが、工期の遅れが今後も心配の種となる。
ICT化に対する動きとして、先進企業への若手の研修や機器の購入とともに現場での対応も行った。 今後も求められる現場の機械化・自動化・省力化を進めていく。ICTについては対応できる人、できる現場から始めて、すべての現場において、利用し労働生産性を改善していきたい。
本社生コンの「信州ソイル」は実績作りの状態にあるが、駒ヶ根工場は生産体制・営業体制が進んでいない。
赤字部門は様々な問題解決が進んでいない、対策はこれから。
本社建築におけるトラブルは早期に解決していきたいが、協議は続いている。
作業員が不足する中、女性・シニアが働きやすい、ワークライフ・バランスを実現できる、働きがいのある職場づくりが、今以上に必要となる。
次の担い手を確保し健全な経営を継続していくことは重要な課題。
新しい仕事の発掘・挑戦を続けて、次の受注に向けての実績作りに意識を持って取り組む。
61期全社 新卒採用 3人、中途採用9人、退職者 11人。(定年1人)
前年度と同様に、新卒採用・中途採用はできたが、退職する人も多い。
今後想定される高齢者の退職による、技術者・技能者不足は当社においても重大な問題となってくる前期は全社で5件の労災事故があった。幸いに休業4日以上労働災害は0件だったが、交通事故等は7件あり、駒ヶ根では重機の転倒もあった。一昨年多かった本社生コンの災害は0件と改善した。本社における重機運搬中の橋梁への接触事故については、補強工事について協議を行っている。
働き方休み方改革が求められている。 以前より有給休暇の取得も進み、残業時間の削減が一部に進んだが、現場管理者を中心に休めない人が一定数いる。 本社では労務管理ソフトを導入し、労働時間の把握がリアルタイムで出来るようになった。さらなる利用を検討していく。
BCPに絡めた、本支店の建て替えは、予定地の周辺整備が継続課題であるが、今期は駒ヶ根支店をスタートしたい。本社においても建替えを具体化させる。
併せて、プラント・工場の作業環境の改善は可能なところから始めていきたい。
建物や設備を整えて会社のイメージアップにつなげていきたい。
新入生、途中入社者の募集で仲間を増やすとともに、現場におけるシニア世代への対策、女性技術者・技能者も探していく。
竹花工業にとって魅力ある新4K(給与がよく・休暇が取れ・希望が持てる・かっこいい)の職場を目指していくためには何が必要か、建設DX等により改めていく事にチャレンジしていきたい。
生産性の向上で更なる待遇改善を目標としていく。
地域貢献としての除融雪・小規模維持補修への対応を続ける。
様々な事業にまずチャレンジすることが当社創業からの対応であり、物事にあたって、憶病にならず良いところはのばしていきたい。 新たな仕事や開発に全力を尽くす。
人生も経営も「遠きをはかる」と言われている。
社内の多くの人が必要な情報を共有し、仕事の目的・目標を明確にしていきたい。政治や環境に原因を求めることなく、「問題は内にあり」の考え方で、社内及び個人の問題解決をしていきたい。
自己の変化により改善、発展への道が開ける。
職場が働きやすく幸せだった、といえるような会社に変化させていきたい。 会社は、より多くの従業員の幸せを実現するためにある。

見直し項目	変更の必要性	有の場合の指示事項等
1. 環境経営方針	有・ (無)	
2. 環境経営目標・計画	有・ (無)	
3. 実施体制	有・ (無)	
4. その他	有・ (無)	

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤 正幸